

## 1 内政

### 戦略, 生存, 捜査に特化した第3回警察学校訓練が開始

26人の警察官は、3日からポンペイ州で開催される10週間の訓練に参加した。同訓練は、“明日のための法執行改善”をテーマにしており、5月30日に開催された開会式ではパニュエロ大統領が演説を行った。

（6月3日付 カセレリエ紙）

### ミクロネシア政府職員の特別手当不正受給

ミクロネシア連邦政府が何人かの職員に対し、支給要件を満たしていないにもかかわらず特別手当を支払っていたことが、ミクロネシア連邦監査局により発覚した。

（6月4日付 カセレリエ紙）

### ミクロネシア連邦政府, グアムでのマチューテ（長刀のなた）を用いた襲撃事件を非難, 団結と思いやりを求める

グアム在住のミクロネシア人3名が7台の対向車へ襲撃をした事件を受け、両国は国家指導者による会談を開き、グアムに住むミクロネシア市民との団結を求めた。パニュエロ大統領はグアム市民に対し、本襲撃事件に関して公式に謝罪をした。被害者の中には、ジュディ・グザーツ元上院議員も含まれていた。

（6月4日付 カセレリエ紙）

### パニュエロ大統領, JCRP へコンパクト交渉を迅速に開始するため協力を呼びかける

パニュエロ大統領は、コンパクト見直し・計画合同委員会（JCRP : The Joint Committee on Compact Review and Planning）代表と会談し、パニュエロ大統領のワシントン訪問や、改定コンパクトの状況に関して意見交換を行った。大統領は、近日中に同委員会の一員となる交渉責任者を選ぶ旨述べた。

（6月14日付 カセレリエ紙）

### パニュエロ大統領, モリ元大統領と国家形成やミクロネシア国民の関心事項について会談

17日、パニュエロ大統領はモリ元大統領による表敬訪問で、教育、経済成長、外交、環境など国民にかかる問題について意見交換した。

（6月17日付 カセレリエ紙）

### パニユエロ大統領、ジョージ副大統領、ポンペイ州議会と国民の期待に応えるため透明性や共同責任について協議

パニユエロ大統領とジョージ副大統領は、ポンペイ州議会と、差し迫るコンパクト支援の終結や、ワシントン訪問に関して会談した。議会は大統領に対して、運輸通信インフラ省(TC&I)とポンペイ州運輸インフラ委員会が、より緊密かつ協力的で透明性のある働きを求めた。

(6月19日付 カセレリエ紙)

### 裁判記録、検察記録を狙った裁判所及び検察所放火事件

18日、ポンペイ州司法長官と事務長の事務所が放火された。ポンペイ州消防署は現場へ駆けつけ消防活動に取り組んだものの損害は甚大であった。事務所は一時的に移転し、審問は延期された。2人の容疑者が逮捕されたが釈放され、20日現在容疑者は確認されていない。

(6月20日付 カセレリエ紙)

## **2 外交**

### パニユエロ大統領、中国へ FSM 信託基金を通じた長期的経済保障に関する支援を要請

パニユエロ大統領とジョージ副大統領は、黄中国大使による表敬を受け、来たる大統領就任式や、FSM 信託基金への援助を含む現在進行中のミクロネシア連邦開発支援計画について会談した。詳細は往電第536号を参照。

(6月4日付 カセレリエ紙)

### メグ・テイラーPIF 事務局長との会談

パニユエロ大統領は、メグ・テイラーPIF 事務局長と会談し、8月にツバルで開催される PIF について話し合った。

### イゲ・ハワイ州知事とリアル ID やコンパクトについて会談

25日、パニユエロ大統領はデービッド・Y・イゲ・ハワイ州知事とハワイで会談し、運転免許証やコンパクトについて議論した。パニユエロ大統領は、ハワイは歴史的に多くの国から移民を受け入れており、様々な課題に直面しているが、その中でも、ミクロネシア国民が、運転免許証の取得に際し抱える問題が解決されることを願う旨述べた。

(6月25日付 カセレリエ紙)

### ハワイのミクロネシア系 NGO “We are Oceania” の政府・NGO 連携啓発活動を称賛

パニユエロ大統領はハワイでイゲ州知事と会談後、NGO 団体 WAO (We are Oceania)

を訪問し、同団体の活動歴史や、ハワイに住むミクロネシア市民に対する活動を伺った。パニュエロ大統領は WAO の取り組みをミクロネシア政府にも取り込み、7月に開催されるミクロネシア諸島フォーラムで本件に触れる旨述べた。

(6月25日付 カセレリエ紙)

### 3 経 済

#### 米内務省、アジア系アメリカ人及び太平洋諸島系のエコノミック・エンパワメントに関する大統領令を歓迎

5月13日、トランプ大統領は、アジア系アメリカ人及び太平洋諸島系の生活の質の改善、家族やコミュニティの生活水準の向上、米経済への十分な参加を目的としたエコノミック・エンパワメントに関する大統領令に署名した。米内務省は、本大統領令は同省の目的を促進するものとし歓迎した。

(6月 カセレリエ紙)

#### グアム州知事と JCRP が緊密な連携を表明

コンパクト見直し・計画合同委員会 (JCRP : The Joint Committee on Compact Review and Planning) 委員長のアステリオ・タケシー氏と事務局長のエペル・イロンは、ルーデス知事、ジョシュア・F・テノリオ副知事と改定コンパクト援助の終了と政府間の更なる連携について協議した。両者は更なる経済成長への抱負を強調し、グアムは本件に関し、国連加盟国を含む国際社会からの積極的な参加を望む旨述べた。

(6月 カセレリエ紙)

#### 連邦最高裁判所、ナマコの「暫定的差止め命令」を棄却

ポンペイ州の法律に基づき同州でナマコを捕獲する時期になった。今回棄却された「暫定的差止め命令」は、原告と被告が命令の棄却の訴えを裁判所に提起し、5月31日から有効になった。最初の捕獲はポンペイ州サブアフィック島で行われ、それらは中国企業の Young Sun に売却された。同社は更なる捕獲のため30万匹のナマコをサブアフィック島へ放流している。2度目の捕獲は、1度目の後、科学的調査を行い、海洋環境の影響がないと判断された後行われる。

(6月20日 カセレリエ紙)

### 4 経済協力

米内務省は、ミクロネシア連邦に対し 830, 848 ドルの自由裁量資金を 2019 年

#### 度内拠出すると公表

米内務省は、技術支援プログラム（Technical Assistance Program (TAP)）のため、830,848 ドルをミクロネシア連邦へ拠出することを承認した。同プログラムは米国連邦議会により毎年承認されるもので、助成金は同国の経済的資源や経済機会等、経済成長を強化するために利用される。

（カセレリエ紙）

#### ドメニック次官補、2019 年災害救助法追加の予算に関しトランプ大統領と米国連邦議会を称賛

トランプ大統領は、“2019 年災害救助追加予算法（US. Public Law 116-20）”に署名した。これにより、災害援助や医療の分野で追加資金を得られる。

（カセレリエ紙）

#### 中国の助成金によるポンペイ州の橋及び道路への 1,300 万ドルのプロジェクトが開始

中国は、ネッチ地区の新たな Kmar 橋の建設及びマドレニウム地区の 5 本の道路整備のため、1,300 万ドルの支援を行った。このプロジェクトは、6 月 26 日に正式に開始され、運輸・通信・インフラ省（TC&I）の担当者によれば、橋の建設プロジェクトには 11 か月かかり、マドレニウム地区の道路プロジェクトについては、総工費が約 1,000 万ドル、完成に約 18 か月かかる。起工式はルカップ小学校及びネッチ自治体庁舎で行われた。

（6 月 26 日 カセレリエ紙）

## **5 文化・教育**

パニュエロ大統領、“Luhk en Mwoalehlap”の称号をナンマルキより与えられる  
13 日、ソケース地区のナンマルキ（大酋長）はパニュエロ大統領に“Luhk en Mwoalehlap”の称号を与えた。

（6 月 13 日付 カセレリエ紙）